

回覧

## 地域再生 協議会だより

百合が丘 2-29-6(老人憩いの家) 59-9356(火・金午前) [isshiki-saisei@grace.ocn.ne.jp](mailto:isshiki-saisei@grace.ocn.ne.jp)

## 「町民大学 北部版」

## 協議会後継に、町から新提案

二宮町は、再生協議会が検討中の後継組織に対して、生涯学習分野に限って支援したいとの意向を明らかにした。町教育委員会が手がける「町民大学の北部版」の新設に当たる。この案では、現行の地域交流部会(山本正博部会長)の生涯学習講座(こうりゅう塾)のほぼ全体をカバーできそうだが、その他の事業部会は対象から外れ、しかも新組織、各部会の管理運営費の支援はできないという。こうした条件下で新組織の活動を担保できるかどうか—についての検証が次の焦点になってきた。

町は協議会の公的支援がなくなる令和4年度以降について、「支援しない」(村田町長)から「支援を継続したい」(同)へと、この4月に方針転換した。その要点は①一色小学校区、地域自治会、地域公民館をベースに推進する「生涯学習」について助成する ②助成はあくまで講座等のテーマごととし、事務費や運営費は対象外 ③町民活動補助などとは別の推進要綱をつくる—など。

この提案の下地になっている「にのみや町民大学」の平成30年度事業実績を見ると、講座回数は23回、参加延べ人数380人、年間町支出約22万円(収入約9万円)。各講師に1回5千円程度の謝金が出ており、資料、材料費などを含め1講座当たり1万円弱を助成している。今のところ、一色小学校区での講座に対しても同じ基準を適用すると見られる。

協議会では、町長の方針転換を踏まえた提案であることから、これを下敷きにして継承組織が成り立つのかどうかについて検討し、今夏にも結論を出したいとしている。

## 7月23日(金)～26日(月) 一色小ヤマユリ公開



恒例の一色小・友情の山のヤマユリ公開の日程を決めました。7月23日(金)から26日(月)までの4日間。一色小が夏休みに入った直後。自生のヤマユリは毎年、少しずつ増えています。何かと鬱陶しい日々が続いていますが、県内ではめったに見られない群生ヤマユリに親しみ、気分を一新してください。

主催する協議会友情の山部会は、一色小学校区5地区の愛護会メンバーが皆様をお迎えいたします。密にならないよう、マスクをしていただくよう、検温をしていただくよう—などなど、コロナシフトを敷きつつ、稀少なユリの女王の姿を楽しんでもらいます。